

申 立 て の 趣 旨																								
申立人が <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">①</td><td>被後見人</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td><td>被保佐人</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td><td>被補助人</td></tr> </table> の居住用	①	被後見人	2	被保佐人	3	被補助人	<table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td><td>建物</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td><td>敷地</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">③</td><td>建物及び敷地</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td><td>区分建物</td></tr> </table> につき	1	建物	2	敷地	③	建物及び敷地	4	区分建物	<table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ア</td><td>別紙売買契約書(案)</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">イ</td><td>別紙賃貸借契約書(案)</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ウ</td><td>別紙(根)抵当権設定契約書(案)</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">エ</td><td>その他()</td></tr> </table>	ア	別紙売買契約書(案)	イ	別紙賃貸借契約書(案)	ウ	別紙(根)抵当権設定契約書(案)	エ	その他()
①	被後見人																							
2	被保佐人																							
3	被補助人																							
1	建物																							
2	敷地																							
③	建物及び敷地																							
4	区分建物																							
ア	別紙売買契約書(案)																							
イ	別紙賃貸借契約書(案)																							
ウ	別紙(根)抵当権設定契約書(案)																							
エ	その他()																							
のとおり <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">a</td><td>売却</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">b</td><td>賃貸</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">c</td><td>賃貸借の解除</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">d</td><td>(根)抵当権の設定</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">e</td><td>その他()</td></tr> </table> をすることを許可する旨の審判を求める。			a	売却	b	賃貸	c	賃貸借の解除	d	(根)抵当権の設定	e	その他()												
a	売却																							
b	賃貸																							
c	賃貸借の解除																							
d	(根)抵当権の設定																							
e	その他()																							

申 立 て の 実 情
<p>1 本人の所有する別紙物件目録記載の不動産を、〇〇〇〇さん(〇〇市〇〇町〇番〇号)に、金〇〇〇〇万〇〇〇〇円で売却することの許可を求める。</p>
<p>2 本人は、現在、介護老人保健施設に入所しているが、令和〇年〇月から〇〇県〇〇市にある有料老人ホーム〇〇苑に入居できることになった。この老人ホームは終身型で住民票も移転できる。しかし、入居するためには金〇〇〇〇万円の契約金と、毎月〇〇万円の施設利用料が必要である。</p>
<p>3 別紙物件目録記載の不動産は、本人が令和〇年に入院するまで居住していたものだが、現在空家である。本人の資産状況は、先に報告した(あるいは今回提出した)財産目録のとおりで、現在の預貯金残金では老人ホームの入居費用を支出すると残金が非常に少なくなり、将来、急に医療費等が必要になった場合などに不安を感じる状況である。</p>
<p>4 本人は、ぼんやりとしながらも、この不動産売却はやむを得ない旨話している。また、本人の子供や配偶者もこの売却はやむを得ないという意見である。</p>
<p>5 以上の次第で、この申立てをした。</p>
<p>(※物件目録を忘れないこと)</p>

(注) 太枠の中だけ記入してください。

居住用(2/2)